

【4-8 定性的システマティックレビュー】

<b>CQ</b>	2	育児希望の乳癌患者に対し卵巣組織凍結は推奨されるか？
<b>P</b>	妊孕性温存として卵巣凍結、卵巣移植を行った症例	
<b>I</b>	卵巣凍結、卵巣移植	
<b>C</b>	なし	
<b>臨床的文脈</b>	診療のプロセスの位置づけは難しいが、予防(不妊症となることへの予防)、治療(将来の不妊症に対する治療)に分類されるかと考えられる	

<b>O1</b>	妊娠率
<b>非直接性のまとめ</b>	RCT, Case control studyは存在せず、Case studyのみ
<b>バイアスリスクのまとめ</b>	RCT, Case control studyは存在せず、Case studyのみ
<b>非一貫性その他のまとめ</b>	RCT, Case control studyは存在せず、Case studyのみ
<b>コメント</b>	RCT, Case control studyは存在せず、Case study 5編のみであった症例が非常に少ないため、妊娠率は0~100%と幅広いものであった

<b>O2</b>	生児獲得率
<b>非直接性のまとめ</b>	RCT, Case control studyは存在せず、Case studyのみ
<b>バイアスリスクのまとめ</b>	RCT, Case control studyは存在せず、Case studyのみ
<b>非一貫性その他のまとめ</b>	RCT, Case control studyは存在せず、Case studyのみ
<b>コメント</b>	RCT, Case control studyは存在せず、Case study3編のみであった症例が非常に少なかったが、生児獲得率は21.6~25.0%で、3編の論文でほぼ同等であった

<b>O3</b>	手技完了までの期間
<b>非直接性のまとめ</b>	評価されている論文なし
<b>バイアスリスクのまとめ</b>	評価されている論文なし
<b>非一貫性その他のまとめ</b>	評価されている論文なし
<b>コメント</b>	評価されている論文なし

<b>O4</b>	手技による合併症
<b>非直接性のまとめ</b>	RCT, Case control studyは存在せず、Case studyのみ
<b>バイアスリスクのまとめ</b>	RCT, Case control studyは存在せず、Case studyのみ
<b>非一貫性その他のまとめ</b>	RCT, Case control studyは存在せず、Case studyのみ
<b>コメント</b>	RCT, Case control studyは存在せず、Case study2編のみで症例が非常に少なかった 合併症がなかったという報告の論文が1編 もう1編では8例中1例で合併症が発生し頻度としては12.5%だが、死亡という重篤な合併症だった

<b>O5</b>	費用
<b>非直接性のまとめ</b>	評価されている論文なし
<b>バイアスリスクのまとめ</b>	評価されている論文なし
<b>非一貫性その他の</b>	評価されている論文なし
<b>コメント</b>	評価されている論文なし